



平成 26 年 1 月 30 日

各 位

会 社 名 **アンリツ株式会社**

代表者名 代表取締役社長 橋本 裕一
(コード：6754、東証第 1 部)

問合せ先 執行役員 (広報分担) 川辺 哲雄
(TEL 046 - 296 - 6507)

平成26年 3 月期 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成26年 1 月30日開催の取締役会において、平成25年 4 月25日に開示した平成26年 3 月期の業績予想を次のとおり修正することとしましたのでお知らせいたします。

1. 平成26年 3 月期通期連結 業績予想数値の修正 (IFRS・平成25年 4 月 1 日 ~ 平成26年 3 月31日)

	売上収益 (百万円)	営業利益 (百万円)	税引前利益 (百万円)	当期利益 (百万円)	親会社の所有者に 帰属する当期利益 (百万円)	基本的 1 株当たり 当期利益 (円)
前回発表予想 (A) (平成25年 4 月25日 発表)	102,000	17,000	16,500	11,500	11,500	81.44
今回修正予想 (B)	102,000	14,300	14,300	9,500	9,500	66.29
増減額 (B - A)	—	△ 2,700	△ 2,200	△ 2,000	△ 2,000	—
増減率 (%)	—	△ 15.9	△ 13.3	△ 17.4	△ 17.4	—
(参考) 前期実績 (平成25年 3 月期)	94,685	15,714	16,139	13,888	13,896	98.41

(注) 前期実績の数値はIAS第19号の改訂に伴い、変更後の会計方針を遡及的に適用し修正しております。

2. 修正の理由

計測事業において、北米を中心とした海外市場で、モバイル市場向け及びネットワークインフラ市場向け計測器需要が好調に推移しているものの、国内市場の需要低迷が継続していることから、売上収益については期初計画の達成を見込みますが、営業利益について下方修正いたします。

産業機械事業については、堅調な国内需要と北米での売上拡大により売上収益・営業利益共に上方修正いたします。また、その他事業ではデバイス事業の不振により売上収益・営業利益について下方修正いたします。

税引前利益、当期利益及び親会社の所有者に帰属する当期利益については、営業利益の修正、為替差益の計上による金融収益の改善、及び、復興特別法人税廃止による税金費用への影響等を織り込んで修正しております。

なお、配当につきましては、期初計画どおり 1 株当たり年間 20.00円 (うち期末配当は 10.00円) を予定しております。

(参考)

事業別売上収益の予想（平成26年3月期通期連結）

(単位:百万円、%)

	前回発表予想 (A) <small>(平成25年4月25日発表)</small>	今回修正予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (%)	前期実績
売上収益	102,000	102,000	-	-	94,685
計測	77,000	77,000	-	-	71,232
産業機械	15,500	16,000	500	3.2	14,439
その他	9,500	9,000	△500	△5.3	9,014

(参考) 想定為替レート (第4四半期) : 1米ドル=100円

事業別営業利益の予想（平成26年3月期通期連結）

(単位:百万円、%)

	前回発表予想 (A) <small>(平成25年4月25日発表)</small>	今回修正予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (%)	前期実績
営業利益	17,000	14,300	△2,700	△15.9	15,714
計測	15,500	13,200	△2,300	△14.8	14,985
産業機械	1,000	1,100	100	10.0	814
その他	500	0	△500	△100.0	△86

(注1) 「その他」には、セグメント情報における「その他」と「調整額」を合わせて表示しております。

(注2) 前期実績の数値はIAS第19号の改訂に伴い、変更後の会計方針を遡及的に適用し修正しております。

(注意事項)

本発表資料に記載されている、アンリツの現在の計画、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しです。これらの記述は、現在入手可能な情報による当社経営陣の仮定や判断に基づくものであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。実際の業績は、さまざまな要因により、これら見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。また、法令で求められている場合を除き、アンリツは、あらたな情報、将来の事象により、将来の見通しを修正して公表する義務を負うものではありません。

実際の業績に影響を与える重要な要因は、アンリツの事業領域を取り巻く日本、米州、欧州、アジア等の経済情勢、アンリツの製品、サービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場のなかでアンリツが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを提供できる能力、為替レートなどです。ただし、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。